

編 集 者

神谷 研二：	福島県立医科大学副学長（業務担当）
	// 放射線医学県民健康管理センター長
	広島大学副学長（復興支援・被ばく医療担当）・緊急被ばく医療推進センター長
大戸 斉：	福島県立医科大学総括副学長（総務担当）
	// 放射線医学県民健康管理センター総括副センター長
安村 誠司：	// 理事（県民健康・新学部担当）兼副学長（県民健康担当）
	// 医学部公衆衛生学講座主任教授

執筆者一覧（執筆順）

（所属：2021（令和3）年1月現在）

石川 徹夫：	福島県立医科大学医学部放射線物理化学講座主任教授
	// 放射線医学県民健康管理センター基本調査・線量評価室長
志村 浩己：	// 医学部臨床検査医学講座主任教授
	// 放射線医学県民健康管理センター甲状腺検査部門長
鈴木 悟：	// 放射線医学県民健康管理センター甲状腺検査業務室長
岩舘 学：	// 医学部甲状腺内分泌学講座講師
	// 放射線医学県民健康管理センター甲状腺検査推進室副室長
鈴木 聡：	// 放射線医学県民健康管理センター甲状腺検査業務室副室長
大平 哲也：	// 医学部疫学講座主任教授
	// 放射線医学県民健康管理センター健康調査支援部門長
横谷 進：	// 甲状腺・内分泌センター長
坂井 晃：	// 医学部放射線生命科学講座主任教授
	// 放射線医学県民健康管理センター健康診査・健康増進室長
細矢 光亮：	// 医学部小児科学講座主任教授
	// 放射線医学県民健康管理センター健康診査・健康増進室副室長
高橋 敦史：	// 医学部消化器内科学講座准教授
	// 放射線医学県民健康管理センター健康診査・健康増進室副室長
島袋 充生：	// 医学部糖尿病内分泌代謝内科学講座主任教授
	// 放射線医学県民健康管理センター健康診査・健康増進室副室長
前田 正治：	// 医学部災害こころの医学講座主任教授
	// 放射線医学県民健康管理センター健康調査県民支援部門長
後藤 沙織：	// 放射線医学県民健康管理センターこころの健康度・生活習慣調査支援室副室長
高橋 敦史：	// 医学部消化器内科学講座准教授
	// 放射線医学県民健康管理センターこころの健康度・生活習慣調査支援室副室長
桃井 真帆：	// 放射線医学県民健康管理センターこころの健康度・生活習慣調査支援室副室長
針金まゆみ：	// 放射線医学県民健康管理センターこころの健康度・生活習慣調査支援室講師
堀越 直子：	// 医学部公衆衛生学講座講師
	// 放射線医学県民健康管理センターこころの健康度・生活習慣調査支援室講師

藤森 敬也：福島県立医科大学医学部産婦人科学講座主任教授

// 放射線医学県民健康管理センター妊産婦調査室長

太田 操：// 助産師養成課程設置準備室長

// 放射線医学県民健康管理センター妊産婦調査室副室長

後藤 あや：// 総合科学教育研究センター教授

// 放射線医学県民健康管理センター妊産婦調査副室長

安田 俊：// 医学部周産期・小児地域医療支援講座講師

// 放射線医学県民健康管理センター妊産婦調査副室長

石井佳世子：// 放射線医学県民健康管理センター妊産婦調査室助教

戸井田 淳：// 放射線医学県民健康管理センター広報推進室長

大須賀健一：// 放射線医学県民健康管理センター国際連携室長

神谷 研二：// 副学長（業務担当）

// 放射線医学県民健康管理センター長

広島大学副学長（復興支援・被ばく医療担当）・緊急被ばく医療推進センター長

大戸 斉：福島県立医科大学総括副学長（総務担当）

// 放射線医学県民健康管理センター総括副センター長

安村 誠司：// 理事（県民健康・新学部担当）兼副学長（県民健康担当）

// 医学部公衆衛生学講座主任教授

謝 辞

2011年3月11日に東京電力福島第一原子力発電所事故が起きてから10年を迎えます。放射線医学県民健康管理センターは、同年9月に福島県「県民健康調査」を実施する組織として設立され、以来、県民の皆様の想いに寄り添い、健康を見守るため、「調査」と「支援」を合言葉に、本調査事業で最大の成果が得られるように努力して参りました。

お陰様で、本書で報告させて戴きましたような多くの成果を生み出すことが出来ました。これは、一重に本調査事業にご理解とご協力を賜った県民の皆様と調査の指導、助言を賜った福島県と「県民健康調査」検討委員会、国際機関、国内外の専門機関や専門家の皆様のお陰です。ここに深甚なる謝意を表します。同時に、本センターでこの調査に携われた歴代の教職員の真摯な努力に感謝と敬意を表します。

私たちはこれからも県民の皆様とともに健康の維持・増進のため、精いっぱい努力を重ねていく所存です。

放射線医学県民健康管理センター 歴代幹部教職員

(2021 (令和3). 1.1 現在、着任順)

◎センター長	山下俊一、阿部正文、神谷研二
◎総括副センター長	大戸 斉
◎副センター長	安村誠司、神谷研二、山下俊一、谷川攻一
◎部門長	安村誠司、細矢光亮、安田英嗣、松井史郎、大津留 晶、鈴木眞一、矢部博興、 藤森敬也、山下俊一、ノレット・ケネス、大平哲也、橋本重厚、前田正治、 志村浩己、大戸 斉
○副部門長	丹羽眞一、坂井 晃、石田 卓、福島俊彦、緑川早苗、佐藤博亮、増子博文、 結城美智子、野村泰久、太田 操、松井秀幸、丹羽大貫（部門長に名前がある 人を除く）
○室長	鈴木 悟、高橋秀人、石川徹夫、田中成省、佐治重衡、松塚 崇、戸井田 淳、 大須賀健一、坪倉正治、田巻倫明（部門長・副部門長に名前がある人を除く）
事務局	
◎担当次長	清水勝夫、須藤弘光、大谷英明、引地 敬、齋藤善護、伊藤賢一
○担当課長・室長	佐藤宏隆、後藤 隆、根本達弥、穴戸哲也、黒澤涼一、原田浩幸、野本雅彦、 市川新吾、大島康範

編集後記

本報告書は、2011（平成23）年に発生した東日本大震災、その後の東京電力福島第一原子力発電所事故で飛散した放射性物質により生じた県民の不安、そして、避難を余儀なくされた県民の心身の健康への影響に対応するために開始された「県民健康調査」の10年間の記録です。

10年目になる2020（令和2）年秋から準備を始め、このたび、発刊の運びとなりました。基本調査の他、4つの詳細調査（甲状腺検査、健康診査、こころの健康度・生活習慣に関する調査、妊産婦に関する調査）の調査結果については、福島県「県民健康調査」検討委員会で報告された内容に加え、論文として公表された内容も含めて、県民の皆様にご理解頂けるよう心がけました。

本報告書が、県民健康調査の目的である「将来にわたる県民の健康の維持・増進を図ること」に活用されれば幸いです。執筆を担当した教員のみならず、事務局の職員には心から感謝致します。

放射線医学県民健康管理センターでは、今後も市町村関係者のご要望や、県民皆様の声に真摯に耳を傾け、県民の健康づくりに寄与していく所存です。

2021（令和3）年2月吉日

神谷研二、大戸 斉、安村誠司

福島県「県民健康調査」報告書 2011～2020

編集者：神谷研二、大戸 齊、安村誠司

発行所：公立大学法人 福島県立医科大学 放射線医学県民健康管理センター

〒960-1295 福島県福島市光が丘 1 番地

TEL：024-549-5130

<http://kenko-kanri.jp/>

印刷：株式会社 阿部紙工

〒960-2195 福島県福島市庄野字柿場 1-11

TEL：024-593-5111（代）

ISBN 978-4-9911932-0-0